

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

3次元自動乳腺密度測定装置を用いた、高濃度乳房に対する乳腺超音波検査併用検診の有用性の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

昭和大学病院乳腺外科にて、2016年4月1日～2021年3月31日までに乳癌手術前にマンモグラフィを撮影され方

2. 研究目的・方法

高濃度乳房の女性ではマンモグラフィ（以下MMG）検診を繰り返すのみでは、異常所見を見落とされることがあり、これによる乳癌発見の遅れが課題となっています。今回、MMGで乳房の濃度を測定する装置である3次元自動乳腺密度測定装置 Volpara™（以下ボルパラ）を用いて、乳房濃度を測定するボルパラの有用性と、超音波検査を併用する有用性について検討します。

研究期間

「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学病院長の研究実施許可を得てから2023年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：MMGの結果、年齢、性別、来院理由、超音波の結果、治療内容、病理結果

4. お問い合わせ先

昭和大学外科学講座乳腺外科学部門

担当者：吉田 伶香（昭和大学外科学講座乳腺外科学部門 03-3784-8000（内線4749）

住所：〒1428666 東京都品川区旗の台1-5-8

受付時間：平日9時～17時